

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自分らしい働き方暮らし方を実現する持続可能なコミュニティ形成事業
事業主体 (連絡先)	CREEKSCHOOL (代表 古後理栄)
事業区分	主となる区分：(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 関連する区分：(3) 教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,776,981円 (うち支援金：1,420,000円)

事業内容

1. 持続可能なコミュニティ形成による就業・起業、移住・定住支援事業

起業や新規事業の立ち上げ、就労支援において知識、スキルの習得は大切なことだが、持続可能なコミュニティを共に作っていくことで、安心して働ける、継続的に事業を営める環境を作るため

- ・チーム形成を基盤とする起業家育成プログラム
- ・中山間地問題、地域課題を解決する講演会 を開催

2. 子育て支援を行うためのネットワーク・コミュニティ形成事業
子ども自身で考え生きる力を育むワークショップや、子育てに関する不安や悩みを自然な形で相談できる開かれたコミュニティを促すイベントを開催



【起業プログラム team360の様子】

事業効果

① 持続可能なコミュニティ形成による就業・起業、移住・定住支援事業

チーム形成を基盤とする起業家育成プログラム「team360」
起業家4名 各人が実際に起業し、コミュニティの中心として今後につながった

中山間地問題、地域課題を解決する講演会
参加者 延37名 それぞれが地域でコミュニティ形成に関する知識を深め、地域への関わりを再認識し、交流を深めた

② 子育て支援を行うためのネットワーク・コミュニティ形成事業
参加者を通じ、親子で社会の見方を考えるコミュニティを形成し、子育て環境が整備される機会となった 参加者 親子延28組

【目標・ねらい】

- ① 雇用促進及び就業・定住支援
- ② 子育て支援

※自己評価【A】

【理由】
継続したイベントの開催により、多数の参加者が集い、今までになかった新たなコミュニティの形成が図られ、それぞれの今後に繋がる結果となった

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加者の間でも SNS を活用したコミュニティの形成が図られ、交流の促進、CREEKSCHOOL からもサポートを続ける。今後も、長野県、長野市、その他企業と協働して、活動を継続させていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある